

リーグ戦におけるメンバーチェンジ制について

関西学生アーチェリー連盟
競技委員会

- メンバー表に補欠欄を追加。その欄に補欠の選手を書いて提出。(必ずしも記入する必要はない。記入しない場合は選手の交代ができないものとする)
- 開会式の際、補欠も共に弓具検査、服装検査を行う。
- メンバーの交代は、2名2回のみ、交代できるものとする。
- メンバーの交代を申し出る事ができるのは、開会式終了後～1回目開始までの間、またはそれ以降、行射終了の3声(矢取り)～次の回の開始(2声)までとする。
- メンバーの交代は、チームの代表者がその試合のDOSに交代を申し出る事によって行われる。
- 交代の際、スコアカードは交代前の選手のものを引き続き使用する。選手名の欄に、交代後の選手の名を追記する。最終的なスコアの承認、サインは交代後の選手が行う。DOSがスコアカードに交代の行われた位置をはっきりと記入する。
- 試合の記録用紙について。
 - 交代前の選手の記録は交代後のエンド、未記入欄に全て斜線を引く。
 - 交代後の選手の記録は交代前のエンドの記録欄に全て斜線を引く。
 - 3射にて交代が行われる場合は、斜線の左上、右下を利用して、3射の得点を行射した選手の欄に書き込む。
 - 50MTOTAL、30MTOTAL、G.Tの欄は、交代後の選手の欄に、交代前の選手の得点を引き継いだものとして記入する。
- 交代を行うかをチーム内等で協議する為の時間は特別には設けない。現行のタイムアウト等を利用する事は問題ない。
- コーチが出場者の資格を同時に持つ場合、補欠とコーチを兼任する事ができる。但し、交代にて選手となっている時にその試合のコーチを放棄するものとする。また交代後補欠となった選手がコーチとなることはできない。